

2008年3月期 決算説明会

2008年5月16日

大陽日酸株式会社

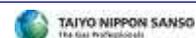
16,May,2008



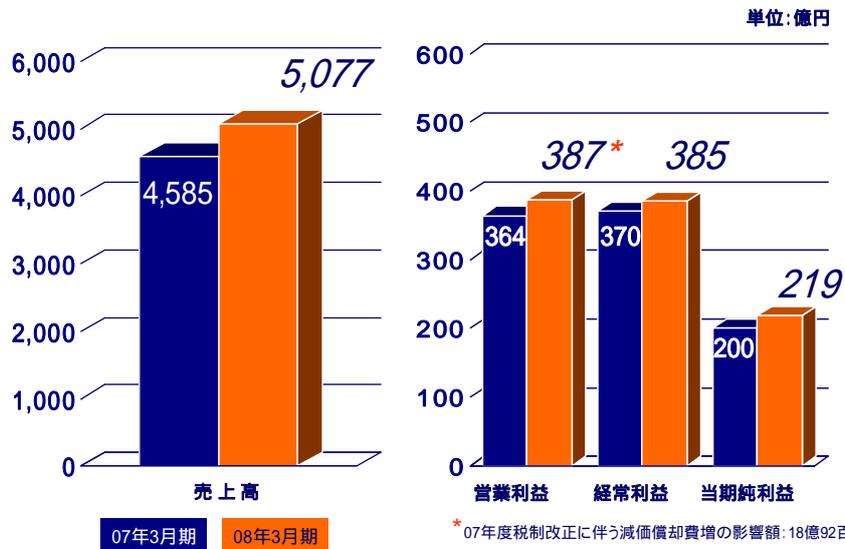
決算ハイライト

- 1 . 過去最高業績を更新
- 2 . 新中期経営計画を発表

16,May,2008



決算概要



16, May, 2008



主なトピックス

	2007年4月	2008年3月
国内	4月 八幡共同液酸㈱設立	10月 日本液炭㈱発足 四国太陽液酸㈱発足
	5月 エヌエスエンジニアリング㈱ を完全子会社化	11月 株塚ガスセンター設立
	6月 大分サソセンターで最新 鋭大型プラント(6号) が稼動	
海外	6月(韓国) SKC AIRGASを設立	12月(米国) ヘリウム液化・精製会社 設立
	7月(シンガポール) NOX新プラント竣工	
	9月(中国) 大連長興島臨港工業区での ガス供給事業合意書締結	

16, May, 2008



セグメント情報

16, May, 2008



2008年3月期 連結セグメント(通期)

ガス事業



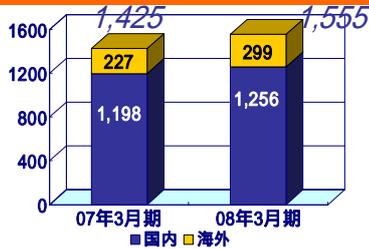
16, May, 2008



2008年3月期 ガス事業の主な業績推移(通期)

単位: 億円

酸素・窒素・アルゴン



1,555億円(前年同期比+9.2%)

- 国内 ▶ 原燃料等の価格高騰の影響を受けつつも、主要ユーザーである、鉄鋼、化学、エレクトロクス向け需要は堅調
- 海外 ▶ 北米M&Aが業績に寄与、中国をはじめとするアジアも堅調

電子材料ガス



686億円(前年同期比+12.9%)

- 国内 ▶ 半導体、液晶、太陽電池メーカーなどの需要増に伴い好調
- 海外 ▶ 韓国、台湾向けの需要も引き続き好調

16, May, 2008

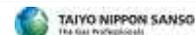


2008年3月期 連結セグメント(通期)

機器・装置事業



16, May, 2008



2008年3月期 機器・装置事業の主な業績推移(通期)

単位: 億円

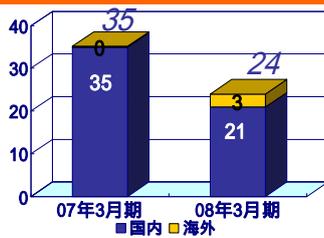
電子関連機器・工事



372億円(前年同期比+4.1%)

- 国内 ▶ 半導体、液晶メーカーなどの積極投資に伴い堅調に推移
- 海外 ▶ 台湾は液晶中心に投資活発化

MOCVD装置



24億円(前年同期比-30.7%)

- 国内 ▶ 今後の需要拡大を控え引き合い活発
- ▶ 日本EMCを買収(太陽日酸EMC発足)

16, May, 2008



2008年3月期 機器・装置事業の主な業績推移(通期)

単位: 億円

切断・溶接関連機器



519億円(前年同期比+35.5%)

- 国内 ▶ 造船、建設機械、産業機械等向け需要は引き続き旺盛
- 海外 ▶ 北米M & A (Linweld)の業績寄与
中国を中心とするアジアの需要旺盛

機械装置



186億円(前年同期比+12.7%)

- 国内 ▶ 鉄鋼、エレクトロニクス向けなど堅調
- 海外 ▶ 台湾、シンガポール向けに出荷

16, May, 2008



新中期経営計画

16, May, 2008

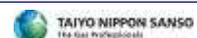


新中期経営計画

『Stage Up 10』～グローバル企業への挑戦～
を発表

「アジア発のメジャー」から
「グローバル企業」への挑戦

16, May, 2008



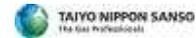
大陽日酸グループが目指すトリプル10

「世界シェア10%」を目指す → 【成長性】

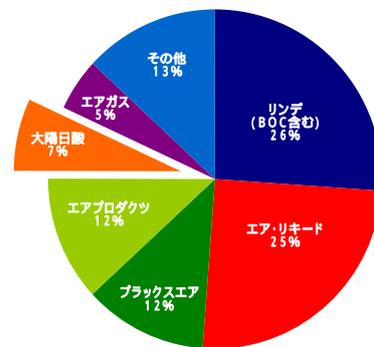
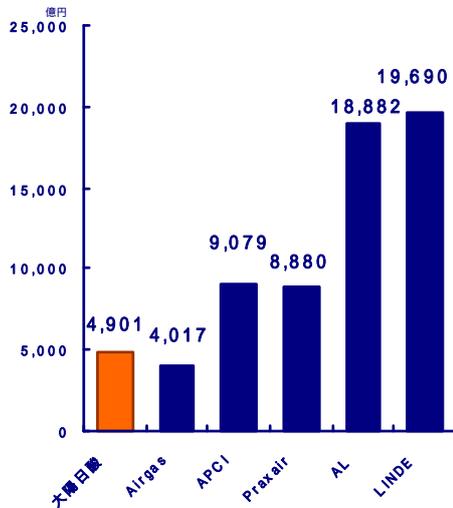
「営業利益率10%以上」を目指す → 【収益性】

「ROCE10%以上」を維持・継続する → 【効率性】

16, May, 2008



大陽日酸の世界シェア(2007年度)



Chemical Week記事及び、各社Annual Reportを基に当社にて試算

出典：各社アニュアルレポートを元に弊社にて試算

換算レート
1US\$ = 100円
1EURO = 160円

16, May, 2008



新中期経営計画 (2008 ~ 2010年度)

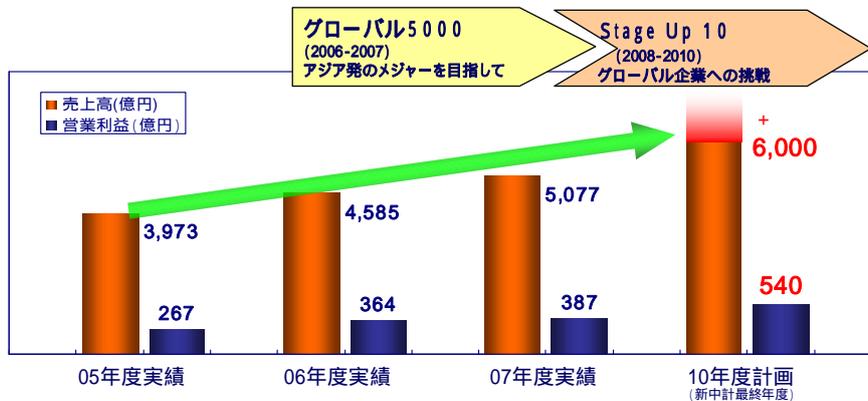
2010年度ターゲット指標

売上高 6000億円+

営業利益 540億円以上 (560億円以上*)

ROCE 10%以上

*会計制度変更による米国のれん償却前



16, May, 2008

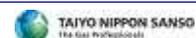


新中期経営計画 (2008 ~ 2010年度)

事業戦略

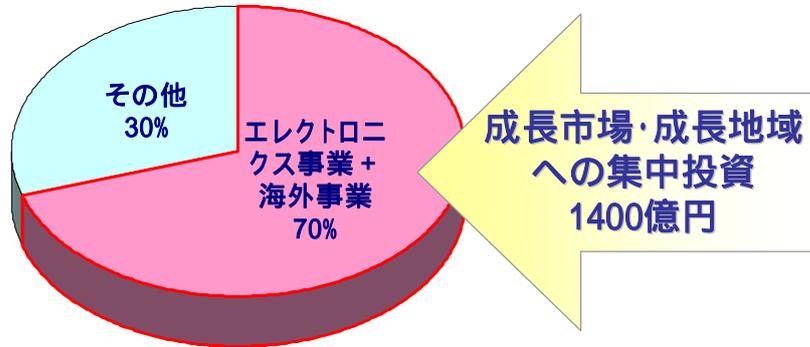
1. 成長市場・成長地域への経営資源の集中
2. 川上戦略の強化
3. M & A戦略の推進
4. 新規事業領域の創出・拡大
5. コストダウンの実行
6. グループ経営の強化
7. 人材育成

16, May, 2008



成長地域への経営資源の集中

3年間(08～10年度)の戦略的投資 2000億円



16, May, 2008

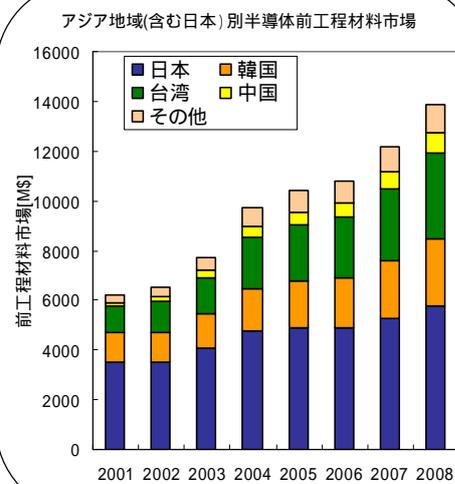


成長市場への経営資源の集中

エレクトロニクス分野（半導体、液晶、太陽電池、MOCVD等）への取り組み



出典: 電子ジャーナル
「2006半導体材料データブック」



16, May, 2008

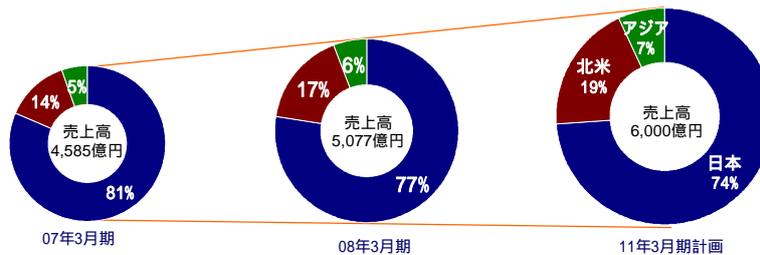


成長地域への経営資源の集中

所在地別売上高の推移

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	伸び率	11年3月期	CAGR
日本	3,726	3,932	5.5%	4,438	4.1%
北米	622	848	38.1%	1,147	10.6%
アジア	237	296	24.9%	415	11.9%
合計	4,585	5,077	10.7%	6,000	5.7%



16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

重要事業戦略

< 成長市場への取り組み >

液晶・太陽電池：「21世紀型コンビナート」への対応
最先端領域への取り組み：IBMと次世代半導体プロセス技術
における共同研究開発に着手

< 成長地域への取り組み >

米国・MTG / FIVE STAR GAS & GEAR, INC.の買収
中国・大連 / 長興島臨港工業区でのガス供給新会社設立計画
シンガポール, フィリピン / 新プラント稼動 生産能力増強

< 川上戦略の強化 >

ヘリウム / APCIと共同会社を設立
特殊材料ガス等 / メーカーポジション
への取り組み

画像提供：SHARP



16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

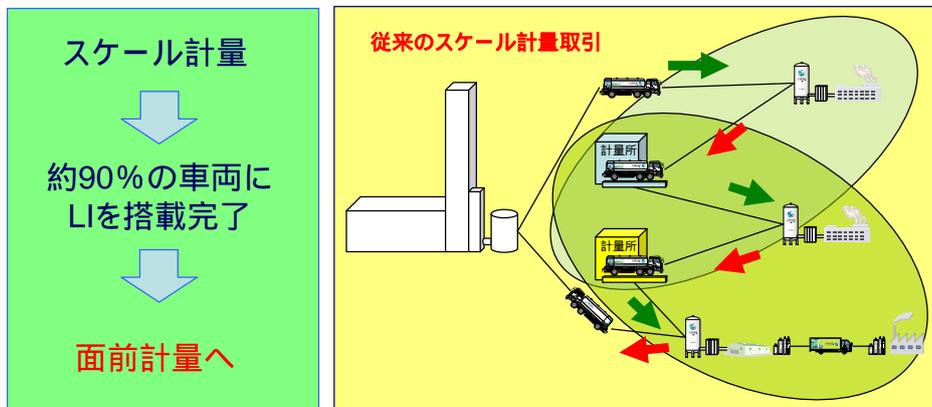
地球温暖化防止に向けた 取り組み

16,May,2008



地球温暖化防止に向けた取り組み

LI (Load Indicator) * の開発を完了、輸送距離削減・エコドライブへ
タンクローリーの輸送効率化推進を図るべく、
輸送製品量あたりの燃料使用量を基準年度(1990年度)比30%減を目指す

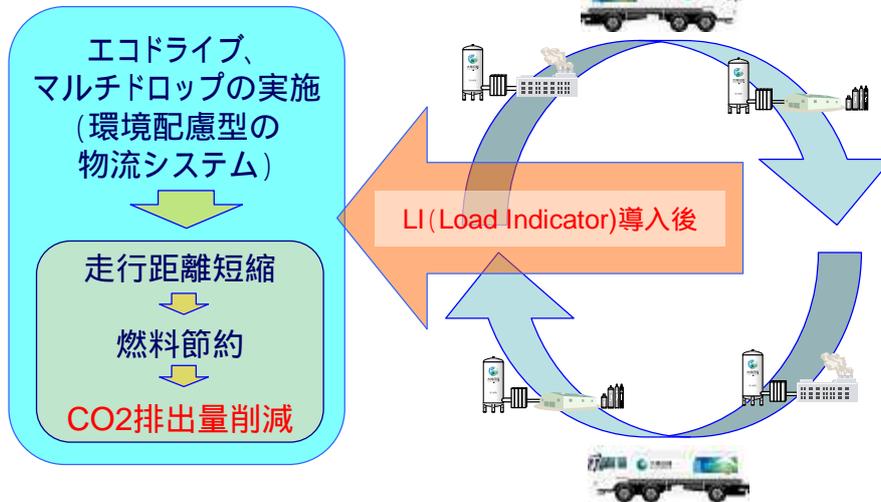


*LI (Load Indicator) / 液化ガスローリー車載重量計

16,May,2008



地球温暖化防止に向けた取り組み



16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

地球温暖化防止に向けた取り組み

□ CO2に換算した大陽日酸の排出量	215.3万t/年
ガス生産工場の電力使用	208.6万t/年
事務所等の電力使用	1.1万t/年
燃料(ガソリン、軽油)使用	3.2万t/年
フロン排出	2.4万t/年
合計	215.3万t/年

➤ 一方、環境関連商品により、約38.5万t/年のCO2排出抑止効果を実現

主な関連商品: SAANバーナー	26.0万t/年の抑止効果
MGシールド	8.5万t/年の抑止効果
SCOPE-JET	4.0万t/年の抑止効果
合計	38.5万t/年の抑止効果

16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

地球温暖化防止に向けた取り組み

燃料電池関連

水素ステーション所在地	千住	横浜・旭	横浜・大黒	船橋(移動式)
最高充填圧力	70MPa	70MPa	70MPa	70MPa
連続充填台数	1台	1台	1台	1台
蓄ガス設備	あり	あり	なし	あり
充填流量	0.1-2.0kg/分	0.1-0.85kg/分	0.1-0.3kg/分	0.1-0.85kg/分



16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

太陽日酸の研究開発

研究開発活動 - ナンバーワン、オンリーワンの技術

エレクトロニクス、医療、環境分野などの先端産業分野を中心に太陽日酸グループのコア技術である低温・高圧・分離・真空・ガス制御技術の深化と開発のスピードアップを目指す

研究開発重点項目

1. エレクトロニクス分野

化合物半導体
Low-k(低誘電率)材
液晶・太陽電池
排ガス処理装置

2. 医療・ライフサイエンス分野

新たな同位体分離技術

3. ガスアプリケーション分野

溶接用シールドガス
酸素燃焼

4. 新エネルギー・環境分野

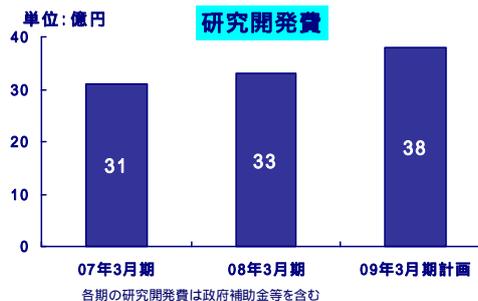
燃料電池自動車向け水素供給ステーション
石油化学プラントにおける水素高度利用技術
環境負荷低減に対応するためのガス・機器

5. ジェネレータ分野

省エネルギー型深冷分離装置
深冷空気分離装置の競争力向上
新型ヘリウム液化機
船舶向け窒素PSA装置

6. 先端技術分野

計測分野向けの分離型希釈冷凍機
液体窒素温度域での高温超電導
マイナス200 級大容量冷凍機
次世代カーボンナノ材料



16, May, 2008

TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2009年3月期 連結業績(通期予想)

16, May, 2008



2009年3月期 連結決算業績(通期予想)

	08年3月期 (実績)	09年3月期 (予想)	前期比 (増減比)	単位: 億円
売上高	5,077	5,270	192 +3.8%	
営業利益	387 7.6%	384 * 7.3%	3 1.0%	
経常利益	385 7.6%	375 7.1%	10 2.6%	
当期純利益	219 4.3%	210 4.0%	9 4.2%	

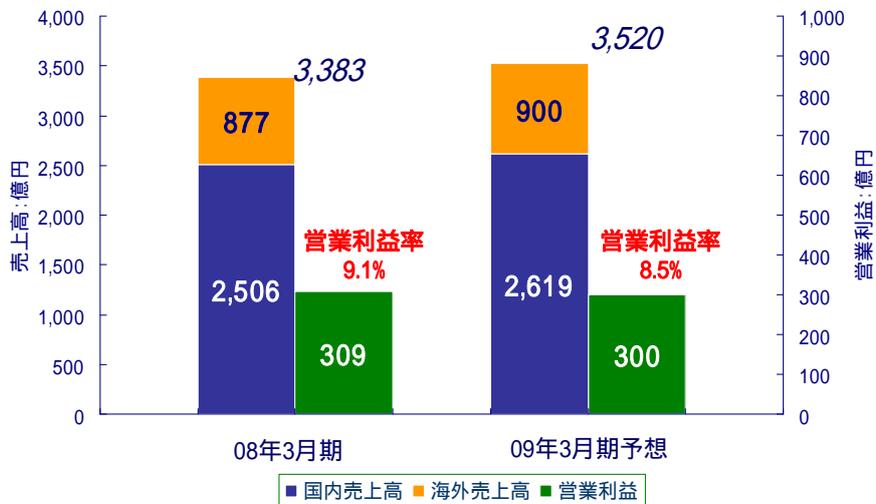
* なお、平成21年3月期の営業利益、在外子会社の会計処理統一に関する取り扱い(平成20年4月以降適用)に基づき、米子会社MTGが計上している「のれん」を連結決算上20年で償却するため、その影響で営業利益が13億円減少する見込みであり、また、減価償却期間を10年から8年に変更することに伴い、同じく営業利益が25億円減少する見込みであります。

16, May, 2008

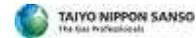


2009年3月期 連結セグメント(通期)

ガス事業



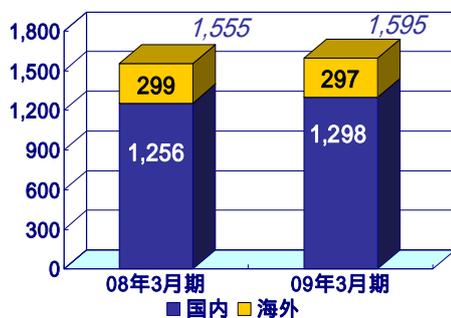
16, May, 2008



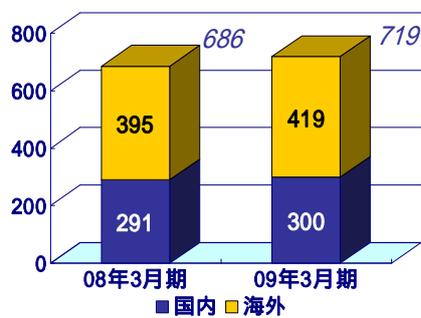
2009年3月期 ガス事業の主な業績推移(通期)

単位: 億円

酸素・窒素・アルゴン



電子材料ガス



16, May, 2008

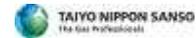


2009年3月期 連結セグメント(通期)

機器・装置事業



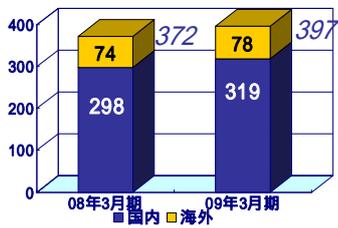
16, May, 2008



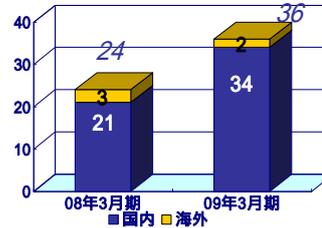
2009年3月期 機器・装置事業の主な業績推移(通期)

単位: 億円

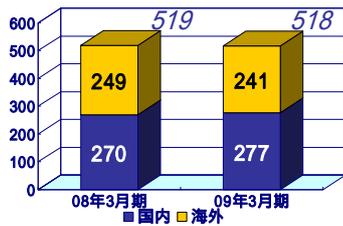
電子関連機器・工事



MOCVD装置



切断・溶接関連機器



機械装置



16, May, 2008



注意事項

本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません。）を含んでおります。

このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。

16, May, 2008

